

職員ヒアリング対象事業に対する質問事項

No. 6 白井市耐震改修促進計画策定事業

| 質問項目 | 質問内容 |
|--|--|
| <p>(共通)</p> <p>実施した市民参加手法の自己評価</p> <p>評価基準及び水準の理解度</p> <p>市民参加システムの活用について</p> <p>市民からの意見聴取について</p> <p>市民への周知について</p> | <p>選択した「市民参加の手法」及び実施した手法に対する自己評価について</p> <p>「市民参加条例」、「逐条解説」及び「市民参加の総合的評価(基準・水準)」を十分に理解したか?</p> <p>市民に耐震診断や耐震改修の普及を求めていくには、まずは市民と議論することが欠かせない。行政の考え方を提示して市民意見の把握を行いながら理解と協力を得ていくには、市民説明会、ワークショップ、意見交換会などの市民参加システムの実施が必要ではないか。</p> <p>東日本大震災以来、耐震改修については市民の関心も高い。アンケートや意見交換会を実施して市民の声を聴くことが必要だったのではないか。(建築や工学的な知験を有する市民も多数いる。)</p> <p>本事業に関して審議会が設置されなかったのはなぜか。</p> <p>想定地震が発生した場合、建物の全半壊は全棟数の 37%。これに対して本計画の住宅耐震化率 88%→95% (H32 年度)。耐震化住宅でも想定地震には、必ずしも対応できないことを広く市民に周知しておくべき。</p> <p>⇒ 事業の中身に関する質問のため</p> |
| <p>(パブコメ)</p> <p>パブコメ</p> <p>パブコメについて</p> | <p>HPのアクセス数から見ても非常に市民の関心が高い。各分野に精通した専門家を含んだ市民参加が必要ではないか。審議会の開催を検討するべきではなかったのか?</p> <p>応募方法の中で実際に利用されたのはどれ?</p> <p>公表までの時間が短く対応が早い但他事業でも可能だと思われるか</p> |

パブリックコメント

当該年度は、パブリックコメントの実施だけですか、そしてパブリックコメントの実施がなぜ第4四半期となってしまったのかを問う。

(市民の安全を確保するために重要でかつ緊急に対処すべき事業であるにも係らず4月～12月まではどのような業務を行っていたのでしょうか。この間に市民の声を聴く機会を設けても良かったのではないのでしょうか、せめて一度ぐらい審議会を開いても問題点課題の整理をしても良かったと思います)

市民の関心が非常に高い事業だと思いますが、市民参加の手法はパブリックコメントだけで、複数の手法を採用するなど充実した市民参加にできなかった理由は何ですか。

パブリックコメントでの意見で、2件が採用され、案の修正が図られたとのことですが、どのような内容だったのでしょうか。

⇒ 事業の中身に関する質問のため